

様式第18 (第33条関係)

届出番号

開始届の番号を記載してください。

石油販売業変更届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

経済産業大臣 殿

届出者 商号、名称
氏名 代表取締役 〇〇 〇〇
(法人にあつては、代表者の氏名)
住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

変更届は、主たる事務所の所在地または営業所の所在地を変更する場合は変更日より前に提出、その他の場合は変更後遅滞なく提出してください。

石油の備蓄の確保等に関する法律第27条第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

変更事項	<p>例) <全営業所共通事項> 商号の変更、住所/主たる事務所の所在地の変更、代表者の変更、販売油種の変更、仕入先の変更 <個別営業所事項> 〇〇営業所の(給油所)の1カ所廃止/追加、移転、販売施設の変更など</p>
変更前	
変更後	
変更(予定)年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
変更の理由	<p>例) 取締役会議の決議による、経営合理化のため、〇〇から譲受のため、〇〇へ譲渡のため、〇〇と合併のため など 具体的に記載してください。</p>
設備の処分に関する事項	<p>例) 〇〇へ譲渡、設備撤去 など具体的に記載してください。</p>

- 備考
- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 - 2 変更事項の欄には、法第27条第1項第1号から第6号までのうち、変更する事項を記載すること。
 - 3 法第27条第1項第3号及び第5号に規定する事項を変更する場合は、「変更年月日」を「変更予定年月日」とすること。
 - 4 「密接な関係を有する石油精製業者の商号、名称又は氏名」又は「石油の種類ごとの貯蔵施設の貯蔵能力及び所在地」を変更する場合は、当該変更の明細を記した書面を添付すること。
 - 5 「設備の処分に関する事項」の欄は、営業所の所在地を変更する場合に限り記載すること。

第2面～第5面は必要に応じて添付して下さい。

(第2面)

3 主たる販売施設の概要

営業所の名称	〇〇支店		
貯蔵設備・計量器 (可搬式も含む。)			
(油種)	(タンク総容量)	(タンク基数)	計量器数
a 揮発油	_____	_____	_____ 基
b 灯油	_____	_____	_____ 基
c 軽油	_____	_____	_____ 基
d _____	_____	_____	_____ 基
e _____	_____	_____	_____ 基

「3 主たる販売施設の概要」欄は必要に応じて加増または削減して構いません。

貯蔵設備等がない場合は空欄で構いませんが、販売形態(例: ペーパー販売等)を空いている箇所記入してください

営業所の名称	〇〇給油所		
貯蔵設備・計量器 (可搬式も含む。)			
(油種)	(タンク総容量)	(タンク基数)	計量器数
a 揮発油	_____	_____	_____ 〇 基
b 灯油	_____	_____	_____ 〇 基
c 軽油	_____	_____	_____ 〇 基
d _____	_____	_____	_____ 〇 基
e _____	_____	_____	_____ 〇 基

「タンク基数」は、一つのタンクを中仕切りで区切っているような場合、それぞれの油種を1基とみなします。「計量器数」は、同時給油できるノズルの本数とします。

営業所の名称	〇〇貯蔵所		
貯蔵設備・計量器 (可搬式も含む。)			
(油種)	(タンク総容量)	(タンク基数)	計量器数
a 揮発油	_____	_____	_____ 〇 基
b 灯油	〇〇 KL	_____	_____ 〇 基
c 軽油	_____	_____	_____ 〇 基
d _____	KL	_____	_____ 〇 基
e _____	KL	_____	_____ 〇 基

貯蔵所の場合の「計量器数」はメーターの数となります。

4 主たる仕入先	〇〇株式会社、〇〇石油株式会社
5 販売しようとする石油の種類	〇〇、〇〇
6 事業開始予定時期	令和〇〇年〇〇月〇〇日

元売り名や卸業者名を記載します。

原油、揮発油、灯油、軽油、重油、LPガスなど販売する油種を記載してください。
 なお、潤滑油、アスファルト、グリース等については届出対象外です。

- 備考
- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 - 2 「主たる販売施設の概要」は営業所ごとに記載すること。
 - 3 「主たる販売施設の概要」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第2面の次に添付すること。

(特定石油販売業者のみ記載)

7 密接な関係を有する石油精製業者の商号、名称又は氏名			
〇〇株式会社			
8 石油の種類ごとの貯蔵施設の貯蔵能力及び所在地			
名 称	〇〇	所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地 電話番号 () —
石油の種類ごとの貯蔵施設の貯蔵能力			
名 称	〇〇	所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地 電話番号 () —
石油の種類ごとの貯蔵施設の貯蔵能力			

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「貯蔵施設」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第3面の次に添付すること。

(法第27条第1項第5号の石油販売業者のみ記載)

9 営業所の給油設備の規模	
営業所の名称	〇〇給油所
給油設備のレーン数	〇レーン
給油設備に用いる自家発電機の容量	〇〇〇KVA
営業所の名称	
給油設備のレーン数	
給油設備に用いる自家発電機の容量	KVA

「レーン数」は、揮発油を同時給油できる車の台数をレーン数として記載して下さい。

10 災害が発生した場合における営業所の状況の確認を受けるための電話番号その他の連絡先

営業所の名称	〇〇給油所
電話番号その他の連絡先	固定電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 携帯電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 携帯メール 〇〇〇〇@〇〇〇〇
営業所の名称	
電話番号その他の連絡先	

3つ以上の連絡先の記載をお願いします。

- 備考
- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 - 2 「営業所」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第4面の次に添付すること。
 - 3 「電話番号その他の連絡先」欄には、電話番号、電子メールアドレス等の事項を複数記載すること。

(法第27条第1項第5号の石油販売業者で、指定石油製品の輸送の用に供するタンクローリーを有している場合のみ記載)

11 営業所ごとの指定石油製品の輸送の用に供するタンクローリーに関する事項	
営業所の名称	〇〇給油所
タンクローリーの数	〇台
指定石油製品の種類	〇〇
最大容量	〇〇〇〇〇リットル (〇〇〇〇リットル×〇室 、 〇〇〇〇リットル×〇室)
設置場所	〇〇〇〇
指定石油製品の種類	
最大容量	(リットル× リットル 室)
設置場所	
営業所の名称	
タンクローリーの数	台
指定石油製品の種類	
最大容量	(リットル× リットル 室)
設置場所	
指定石油製品の種類	
最大容量	(リットル× リットル 室)
設置場所	

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「営業所」、「タンクローリー」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第5面の次に添付すること。